

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	山内 毅
主な担当科目	舞台音響演習_R(月2, 3),舞台音響演習_L(月4、5)
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	1)学生数が減っているため、少人数での実習方法を検討する。 2)自主練習を促す。 3)円滑な授業を行うため、実習用機器の管理・メンテナンスを実施する。
2024年の教育に関する自己評価	1)少人数だからこそ同じ目的に向かって一致団結することを促し、良い結果が生まれた。 2)積極的に練習していた。可能な限り土日でもサポートした。 3)スタジオリリエだけでなく、ユリホール、スタジオブリオの機器管理や機材リスト更新も学生と行い成果をあげた。
2024年のFD活動に関する自己評価	分科会FDおよび年度初め、後期開始前の全体研修のみ参加。通院の都合もあり一部不参加。分科会FDでは主査として全体を取りまとめた。
授業改善のために取り入れた研修内容	分科会FDで挙げた情報を共有し学生への対応を検討実施した。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2094 教員名:山内 毅

1)アンケート結果に対する所見

全体的に回答率が約半分であり、積極的な学生の声に偏っていると思われる。

(ア)「舞台芸術実習②③」(音響)について

②:Q1,5,10 は平均以上で、Q5,10 は 4.0 あり満足度は満点。／自由記述なし。

③:Q1,5,8,10 は平均以上であり、満足度は満点。／自由記述なし。

(イ)「公演実習Ⅱ／Ⅲ／Ⅳ」(音響)について

Q5,8,10 は平均以上であるが、4.0 のものはない。／自由記述において、公演のリハーサルで起きた事故についての思い、意見が示された。

(ウ)「録音制作Ⅱ」について

すべての項目において平均以上である。Q2,3,10 は 4.0 であり満足度は満点。／自由記述なし。

2)要望への対応・改善方策

(ア)「舞台芸術実習②③」(音響)について

失敗しないための授業とならないようにする。新しいことにチャレンジさせる。

(イ)「公演実習Ⅱ／Ⅲ／Ⅳ」(音響)について

自ら進んで考え協働することの大切さを考えさせる。応用力を養える授業展開を引き続きめざす。非常勤講師とも連携する。自主練習を促す。

自由記述については、当事者はもちろん、関係部署とも打合せを繰り返し、今年度以降の実習を安全に運用できるように共通認識を持った。

(ウ)「録音制作Ⅱ」について

講義科目ではあるが、引き続き体験型の授業を進める。基礎を大切にこそ応用ができることを伝える。

3)今後の課題

(ア)「舞台芸術実習②③」(音響)について

全員で参加する、自ら考えることを促す必要がある。

(イ)「公演実習Ⅱ／Ⅲ／Ⅳ」(音響)について

先輩たちの反省を宝ととらえ、上を目指す環境づくりが必要である。

(ウ)「録音制作Ⅱ」について

2025 年度で廃止となる科目ではあるが、授業アンケート結果に満足することなく、初心に立ち返って授業運営する。

以 上